

広報 やまこし

1990
1月
第259号

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■1月1日発行



お知らせ

農家のみなさまへ

農林業センサスにご協力ください

平成二年一月一日現在で、「世界農林業センサス」が行われます。この調査は、農家はもちろん農業経営を行う事業者のすべてを対象としています。目的は、我が国の農家戸数、耕地面積、農業経営の概況など、農業の現状を明らかにすることです。

センサスで築け未来の農林業

農業は、国民生活に欠かすことのできない食料の安定的な供給をはじめ、国土や自然環境の保全等我が国経済社会と国民生活の土台を支える重要な役割を果たしています。一方、日本経済の急速な国際化の中で、農業生産の担い手を育成し、生産性の向上、内外価格差の縮小を図るとともに、農村の

活性化を図ること等が緊急の課題となっており、各種施策の充実、強化を推進する必要があります。

農林業センサスはこのための基礎資料を提供することを使命とした、非常に重要な調査です。つきましては、この調査の趣旨をご理解いただき、調査員が伺いましたらご協力をお願いいたします。

なお、調査した内容は、統計を作成するためにだけ使われるもので、個人の課税等その他の目的に使うことは、法律で固く禁じられています。ありのままをお答えください。

調査員は次の二五人の人たちです。(敬称略)

- ◆種芋原 坂牧雅良 樺沢忠春 坂牧菊松
- ◆坂牧兵衛 坂牧米作 樺沢和利



- ◆樺沢一義
- ◆虫亀 田中良宗 田中六郎 長島半
- ◆長島源佐
- ◆南平 齊藤松太郎 畔上勝
- ◆竹沢 星野秀雄 青木毅 小池彦衛
- ◆星野三男三 星野透 川上毅一郎
- ◆高野達次 岡本欽治
- ◆東竹沢 五十嵐力蔵 川上正春 関正史
- ◆松崎六太郎

交通安全運動実施中!

12月1日～1月10日

年末年始の交通安全運動が、ただ今実施中です。スローガンは、「安全のバトン」を渡そう新たな年へです。重点目標は①飲酒運転の追放②スリップ事故の防止③路切事故の防止となっております。車の運転には、くれぐれもご注意ください。

夜間や休日に車で病院へ行く人には 消防署で病院を紹介しています

夜間や休日に、軽いケガ等のため救急車を利用せず、自家用車等で病院へ行き診療を希望される人には、消防署で病院を紹介しています。防本部へどうぞ。

日本全国むらおこし展で 缶詰三点セットが入賞

(株) ゆきぐに企画で製造している缶詰三点セット(鯉こく、こくしょう、つけな煮)が好評で売れ行きも好調です。中小企業庁と全国商工会連合会の主催で、一月二五・二六日に東京池袋のサンシャインシティで行われた「第三回日本全国村おこし展特産品コンテスト」にこのセットを出品したところ、見事上位五ポイントに選ばれ表彰を受けました。このコンテストは、全国四七都道府県から約一、〇〇〇点が出品され、このうちの上位五ポイントのうち、一点に選ばれたということは、非常に高い評価を受けたということになります。



「さいの神」は届け出を!

小正月行事の「さいの神」は、多量の煙と炎を出し火災と間違いやすいので、必ず消防署に届け出を出してから実施してください。(☎八三―三三二)

謹賀新年

古志高原スキー場 オープン

村の活性化に

期待広まる

12月10日にスキー場開き 子供たちはさつそく初滑り



人口の動き (元.11.30現在) ■人口 3,055人(-3) 男 1,547・女 1,508 ■世帯数 817(±0) ■11月中のうごき □出生 4 □死亡 4 □転入 3 □転出 6

新年のごあいさつ

山古志村長
酒井省吾



謹んで新春の御祝詞を申し上げ、村民皆様のご清祥を心からおよろこび申し上げます。

昨年は年明けて間もなく、御在位六十三年余に及ぶ天皇の御崩御に依つて、元号も昭和から平成と改まりました。また思いがけず君知事が急逝され、六月には新しく金子知事が新潟県政を担われることとなりました。リクルートや消費税など選挙の結果、国内の政治情勢に地殻変動が起き、国際間では、米ソ両大国の深刻な経済、財政危機を背景に、これまでの思想的、軍事的対立の時代から、協調の時代へと転換がはかられようとしており、ソ連や東ヨーロッパに民主化運動の大きなうねりが起きています。いっぽう吾が国は、独り好景気を持続し世界屈指の経済

大国といわれる程に、大きく成長をいたしました。その結果貿易や金融、投資などいろいろな面で日米間の摩擦が更に激化する様相を見せており、内外ともに激動の中で新しい年をむかえております。今年の冬もまた少雪となりそうだが、など多くの声も聞かれています。ですが、暖かい気候が続いて何よりです。二年も四年も雪の少ない冬が続くと、豪雪のことなど忘れてしまひそうですが、ひとたび冬將軍が居座ると大雪になることも簡単ですから油断はなりません。村では村民皆さんの生活を守るために、道路の除雪や圧雪の態勢を固めています。

十二月十日の竣工式スキー場開きに合せてくれたように雪が降り、まことに幸先のよいスタートを切る事が出来ました。白銀のゲレンデを鳥のように舞いすべる子供達や父兄の、颯爽激刺たる状況に深い感動を覚えました。「もつと雪が降らないかな。大人からもいまままで聞かれないかな」と葉が聞こえて来ます。いま山古志村に、雪に対する意識革命が急速に拡がりつつあること、雪を通じて外の人々とのコミュニケーションや、交流が生れて来ていることは、自ら考え自ら行った地域おこし事業、に蕾がつきはじめたと受けとめてよいのではないのでしょうか。

元年一二月いっぱい任期の終った民生・児童委員に、今までの委員の人たち一四人が全員再任されました。民生・児童委員は、村の民生・児童委員推薦委員(五人)が推薦し、厚生大臣から任命されます。再任されたみなさんは、一月一日からさらに三年間(任期三年)、村民福祉にご活躍いただきます。みなさんはお困りのことなどがありませんでしたら、お気軽にご相談ください。

人権擁護委員

関和男さん勇退
星野博さんに

人権擁護委員は法務大臣から委嘱を受け、人権問題の相談を受けその解決を図ります。

このたび昭和三十九年以降現在まで、二〇余年の長い間委員として活躍してこられた関和男さん(東竹沢)が退任され、代りに星野博さん(竹沢)が就任されました。関さんはこの間に何度かの叙勲も受けられ、その功績はたいへん大きく、高く評価されています。長い間ご苦勞様でした。

●人権に関してお困りのことがありましたら、人権擁護委員にご相談ください。委員は長島元三郎さん(虫亀)と星野博さん(竹沢)です。

固定資産評価審査委員会委員に松井甚四郎さん

一二月定例議会で松井甚四郎さん(東竹沢)が、固定資産評価審査委員会委員に、選任・同意されました。これは小川信雄さん(東竹沢)の退任に伴うものです。任期は三年です。

民生・児童委員 全員再任

- 民生・児童委員(敬称略)
- 種芋原
 - 坂牧 常英 金内 友次
 - 小川 精二(総務)
 - 虫亀
- 松田 和子 田中 文代
- 竹沢
 - 星野 ユリ 星野 作一
 - 小池 喜代
 - 南平
 - 畔上 直吉(副総務)
 - 東竹沢
 - 五十嵐 務 関 喜美枝
 - 川上 秀雄 小川 隆正

年頭所感

山古志村議会議長
五十嵐 秀夫



新年明けましておめでとうございませう。

激動の平成元年も過ぎ去り新しい平成二年の新春を、皆様には御健勝にて迎えられたこととお祝い申し上げます。顧みますに、昨年は正月早々に昭和天皇が御崩御され、年号も平成と改められまし

た。平成元年は世界的には、ソ連のペレストロイカ(改革)に始まり、東欧諸国の民主化運動の波が広がりをみせ、また中国における天安門事件等大きな波乱の年でもありました。

一方国内でも変遷の数々があつた年でした。県内においては、故君前知事さんの死去に伴い県知事選挙が行われ、金子県政となりました。さらに参議院通常選挙・補欠選挙と続き、選挙の明け暮れの感がいたしました。内外共に波乱の一カ年で今思い出されて感慨深い思いがあります。

さて、私共山古志村を回顧する時に、一カ年を通じ大きな災害とてなく、気候もまずまず良好で、稲作、錦鯉等も全体的には良かったのではないのでしょうか。次に、

異常の事柄が一、二ありました。小雪暖冬で「古志の火まつり」が中止のやむなきとなりました。それに、三月末の村議会改選には私共二人が無競争当選させて頂きました。誠にありがとうございます。

なほ、私事で恐縮ですが、浅学非才の私が村議会議長の重責を担うことになり、光栄と同時に身のひきしまる思いであります。無競争であるだけに余計私共は、村民の期待に添うべく決意を新たにしております。紙面をお借りして議員諸氏と共に、村民各位に深く感謝御礼申し上げます。

平成元年の村内の主な事業では、ご承知のとおり待望久しい「古志高原スキー場」が建設され、多くの関係者の方々のご努力によって二月一〇日にめでたくオープン

いたしました。今後は村内村外の多くの人達から、愛され親しまれるスキー場として利用され発展することを祈念して止みません。また、種芋原教員住宅も一月中旬に完成の運びとなり、ご同慶に存じます。私共の山古志村では、道路網の充実を始め教育、産業観光の振興、福祉の充実等、多くの課題があります。これらの諸問題を、私共議会人も村当局と充分話し合いながら、改善に一生懸命努力いたします所存であります。今後共皆様方より、倍旧のご指導とご叱声を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新春にあたり、山古志村の発展と村民各位のご多幸を心から祈念申し上げます。私の年頭の所感といたします。

県民手帳の訂正について

先般配布いたしました一九九〇年版県民手帳に、誤りがありましたので訂正願います。

- 誤 〇二五二二六五二三三四
- 〇正 〇二五二二五六一三三四

全日本

錦鯉品評会

1月20日〜21日

国魚・錦鯉の日本一を決める、「全日本錦鯉品評会」が開かれます。期日は一月二〇日と二一日(土・日曜日)の二日間。今年で第二二回となるこの大会、会場は例年どおり東京平和島の東京流通センター展示会場です。時間は午前九時から午後五時まで。入場は

無料です。

昨年村内からの出品は三三三入賞は五五五でした。今年はその以上の出品・入賞成績となるよう、錦鯉関係の皆様のご協力をお願いします。錦鯉の出品については、漁協にご相談ください。出品鯉の運搬から持ち帰りまで、すべて漁協で扱うとのことです。

錦鯉品評会観覧

日ごろ皆様方から、漁協青年部に対し、多大なるご指導、ご協力を頂いていることに深く感謝を申し上げます。

バスツアーのご案内

日ごろ皆様方から、漁協青年部に対し、多大なるご指導、ご協力を頂いていることに深く感謝を申し上げます。

1月の納税・保険料

- ★村民税(4期分)
- ★国民健康保険料(1月分)
- ★国民年金保険料(1月分)
- ★保育料(1月分)



14議案を可決

一般質問は「錦鯉の振興について」と「バス待合所の改善について」



二月定例議会が二月二三、一四日の二日間開かれました。議案は村営スキー場設置・管理及び運営に関する条例、一般会計他四特別会計の補正予算等一四議案が提案され、二日間の審議の結果、いずれの議案も原案どおり可決・承認されました。一般質問は二人の議員が「錦鯉の振興について」と「濁沢バス待合所の改善について」を行いました。要旨は次のとおりです。

A議員

今の山古志村には、地場産業の振興を図ることが重要課題である。中でも錦鯉は発祥の地であり、重要な地場産業の一つであるが、産業として位置づけると諸問題があり苦しい状況にある。

そこで村としてどのような対策を立てているか。①宣伝方法について(他市町村の宣伝方法はどうか)②後継者対策はどのようにやっているか。錦鯉産業の底辺拡大のため、生産グループ等の育成が必要と思われる。③養鯉池の造成について。最近村単は整備は減

少傾向である。村の水田面積は三〇〇ヘクタール以上と思われるが、実際の作付面積は二二〇ヘクタール程度と言われている。この残りの面積はどうなっているのか。これを村単は場整備のように池造成補助金を出し有効に利用できないものか。以上三点についてお聞きしたい。

村長

錦鯉は先人の残してくれた貴重な遺産であり、大切に守って行かなければならないと考えている。

①宣伝方法については、定期的にテレビ放映したり、パンフレットを県の東京事務所に送ったりしている。他にも名刺に錦鯉の写真を使ったり、写真コンテストの題材にしたりと、考えられる限りの宣伝をしている。また「錦鯉ゆうパック」のチラシ印刷費の補助も行った。しかし私は以前から、マスコミが自ら記事として取り上げるような事業を行うことにより、マスコミを宣伝に使うことができれば一番効果があると考えている。

他市町村の宣伝方法については、錦鯉関係の予算で見ると、小千谷市で今年できた錦鯉の里のパンフレット印刷費二二〇万円を含め約二三〇万円。長岡市は品評会補助一五万円。小出町、川口町ともに組合へ八万円と六万円というような状況です。その他山古志村も

含め各市町村とも県の品評会に自分の負担をしている。村の錦鯉関係の予算は、一番多いのが漁協運営費約三〇〇万円で、総額で五〇〇万円以上支出している。②後継者対策については、錦鯉は自主的なグループが自らの力で育ってきっており、大変力強く思う。また畜産しかり、商工会青年部も村活性化に真剣に取り組んでいる。これからは、これらのグループが大同団結して村づくりを考えてくれたら、いっそう心強いと思う。しかし、村の対策として各グループへの直接的な援助は考えていない。ただ場所づくり、きっかけづくりには、全面的に援助をしていきたい。③養鯉池の造成については、村内の大半が地すべり指定地域であるため、国県の地すべり防止事業との関連で、どこにでも簡単に村が補助をして池を造成するというわけにはいかない。したがって補助金は考えていないが、地すべり指定地域以外に良い池を造ってほしい。

A議員

後継者問題については、村はまったく取り組んでいないのか。

かつてはグループ育成に補助金を出したこともあったが、現在は金銭面での直接的援助はしていない。しかし、ソフト面や人的援助

は続けている。A議員 これからも、できない、やらないではなく、前向きに取り組んでもらいたい。B議員

B議員

濁沢バス待合所の便所、電灯について。長岡へのバスは、通学、通院、買物等のための重要な生活路線である。先般、濁沢待合所が大きな新しいものに建てかえられたことについては、感謝を申し上げる。しかし、便所と電灯はつけられなかった。バス利用者から苦情が多いので、地区協議会で最終バスを利用して実態を確かめてみた。この結果、待合所内は真暗で治安上憂慮される。便所の問題は、バス利用者は病院への通院者、女性、子供等が多い。これらの人たちが一時間三〇分も便所に行けない苦勞は、特に女性には痛切である。本数が増えたとはいえない。不便になったと言っている。学校からも毎年この問題について、改善するよう要望されている。このような切実な問題を単に、行政区が違うから、と一言でかたづけられると、行政への信頼度がそこなわれるのではないかと。村長

開始前から乗りかえの不便は考えられた。当初、待合所は落合橋付近にと考えたが、用地問題で現

在地となった。以前の待合所は小さくて評判が悪かったが中は今より明るかった。しかし、今の大きくした待合所は確かに中が暗い。今考えていることは、防犯灯を動かしてその光の中に入るようにしたい。ということだ。便所問題は最初から進展していない。本来越後交通でやるべきことであるが、営利企業であり、土地も持っていない。まったく他市のことで、何をやる

B議員

九月議会でも同じ話を聞いた。今の答は残念。電灯料など村が負担してもよいではないか。便宜をはからなければならぬと思

う。待合所付近の家では、便所を借りられて困る、と苦情も出ている。九月から今まで三ヶ月もたつ

たが、具体的な交渉経過をお聞かせ願いたい。総務課長

電灯は今の防犯灯を下げれば待合所の中は明るくなる。しかし防犯灯という目的からそれは無理。柱を曲げる等して中を明るくできるか検討中。便所については、待合所の土地を村が長岡市から借り、越後交通が建物を建てた。便所を造るには長岡市から土地の借用が

道路除雪にご協力を……

今冬も村内主要道路を村と大久保土建(県の委託業者)で除雪します。除雪区間の総延長は、三三・四キロメートル。あわせて雪上車による圧雪も行います。除雪、圧雪路線とも昨年と同じです。

除雪の分担は、村が種芋原、桂谷間と池谷、木籠間。大久保土建が竹沢、濁沢間、竹沢、間内平間、竹沢、木籠、小松倉、十二平間、種芋原、田代、滝ノ又間を担当します。

除雪の際一番の障害は、路上駐車です。また、除雪後に道路へ雪を出す交通の妨げになります。道路はみんなが通勤・通学等に使う大切なものです。一人の不注意から大勢の人に迷惑をかけることのないようお願いします。除雪・圧雪作業がスムーズに行われる

よう、次の事項にご協力ください。●除雪・圧雪路線には、駐車をしないで。●車の交換場所には、駐車・物の放置をしない。

●除雪路線沿いの家で雪降ろしをする場合は、一斉作業をする。作業終了後、村有機械で除雪。●除雪完了後、雪降ろし等のために交通に支障がある場合は、この雪を個人で責任を持って処理する。

●道路沿いに越冬池、越冬イキス等の施設がある人は、その付近に目立つよう赤色の布等を下げて表示し、事故を未然に防止してください。●除雪・圧雪車は、大型で小回りがききません。人・車ともに指示があるまでは、絶対に近づかないでください。●除雪に関するお問い合わせは、なだれにより通行できない場合やなだれの危険が予想される時、その他除雪に関する場合は次に連絡ください。

事件事故

見たら聞いたら 一一〇番

一月一日は一一〇番の日です。「事件かな」と思ったら一一〇番を。●行動の不審な人が近所をうろついている。●深夜、家の回りで不審な物音がする。●見かけない不審な車(ナンバーのメモを忘れず)がとまっている。●指名手配犯人に似ている人がいる。

近くで「助けてくれ」等の悲鳴が聞こえる。「一一〇番はあなたと警察のホットラインです」ご協力をお願いします。(長岡警察所)

除雪路線



- 村除雪対策本部(役場建設課内) ☎五九一―三三三〇
- 県道除雪委託業者(大久保土建) ☎五九一―二二〇六
- 大久保土建種芋原出張所 ☎五九一―二二三八

今、雪を足踏か入物……

『古志高原スキー場』を『利用ください』

昨年から二年がかりで建設が進められていた、「古志高原スキー場」が完成、一月一日(日)にオープン、竣工式とスキー場開きが行われました。

「一月末に降った雪も消えかかスキー場開きのテープカット



り心配されたのですが、前日から運良く雪が降り出し、当日は約五〇センチの積雪。小雪ちらつく絶好のスキー日和となりました。午前一〇時三〇分からスキー場で、関係者・招待者約一〇〇人が見守る中、安全祈願祭が行われ、一時に花火を合図にテープカット。初すべりはスキースポーツ少年団の子供たちです。参加者全員が見上げる中、一列になって一人が一枚づつ、『古志高原スキー場』の大きなカードを持って滑り下りてきました。その後はリフトが無料開放されて鏡開き、もちつき大会、おにぎりサービスなどが行われ、家族づれ等大勢の参加者はスキー場開きを祝いました。

竣工式は、会場を村民会館に移し、一時三〇分から行われました。「今までは、雪は嫌なものとのイメージが強く、子供たちも大きくなるにしたいが、だんだんふるさと(雪)から離れる傾向が強かった。今、これを改め村の活性化を図るため、村民の強い願いから、本格的なリフト付のスキー場

リフト利用料金

	普通券 (1回券)	回数券 (12回券)	半日券	1日券	シーズン券
大人	150円	1,500円	2,000円	2,500円	10,000円
子供 (小学生以下)	100円	1,000円	1,500円	2,000円	7,000円

をオープンできた。早くから遅くまで滑れるスキー場として児童生徒を中心に近隣からも大いに利用していただき交流を深めてほしい」との村長の式辞後、祝辞では「錦鯉と蘭牛の里に、また新しい名物ができました。私たちが利用させていただきます」と郡町村会副会長の与板町長、「克雪、克雪だけでなく、雪の利用を考えなくてはならない時代。そこにこのスキー場の完成は意義がある」と五十嵐議長などのスキー場竣工への大きな賛辞がありました。

このスキー場の管理運営は、古志高原リフト(株)が行います。スキー場にはスキーセンターがあり、休憩したり食事などもできるようなっています。ご家族づれで大いにご利用ください。お問い合わせは、☎五九一三五〇古志高原リフト(株)へどうぞ。

古志高原リフト(株)の役員名は次のとおりです。

- 社長 酒井省吾(村長)
- 専務取締役 星野清司(竹沢)
- ▲常務取締役 佐藤浩明(竹沢)
- 取締役 五十嵐誠(東竹沢)
- 松井靖博(東竹沢) 長島忠美(虫亀) 渡辺一治(竹沢)
- 小川喜八郎(種芋原) 小川惣右エ門(種芋原)
- ▼監査役 五十嵐秀夫(虫亀)

星野仙嗣(収入役)

- ・ペアリフト一基(五四三㎡)
- ・八、八五〇万円
- ・スキーセンター(木造二階建三九九㎡、事務所、食堂等)
- ・五、七七〇万円
- ・ゲレンデ造成(五〇、〇〇〇㎡)
- ・三、九〇〇万円
- ・圧雪車、スノーモービル
- ・二、四二〇万円
- ・立木等補償費

「県民だより」をお送りします

金子知事が掲げた「県民とのふれあい」政策の一環として、「県民だより」が創刊されました。一月に創刊号が発行され、今後年四回のペースで発行されます。県内全戸配布を予定しています。配布方法は諸般の事情により新聞折り込みで行うことになりました。このため、新聞をとっておられない家庭には配布されませんが、役場窓口には備えてあります。新聞をとっておられない家庭で直接家へ配布を希望される人は、総務課広報係へご連絡ください。

1月7日に消防出初め式

消防団の出初め式が、一月七日に行われます。各分団単位で村内いっせいに進みます。時間は午前九時から、打鐘を合図に開始されます。

年金額比較表

区分	昭和63年度		平成元年度	
	年額(円)	月額(円)	年額(円)	月額(円)
[老齢年金]				
10年年金	389,800	33,717	404,600	33,717
5年年金	331,800	28,700	344,400	28,700
23年年金 (元年度最長加入)	586,400	50,708	608,500	50,708
[老齢基礎年金]				
完納・65歳受給	627,200	55,500	666,000	55,500
〃・60歳繰上	363,800	32,192	386,300	32,192
障害(基礎)年金・1級	784,000	69,375	832,500	69,375
〃・2級	627,200	55,500	666,000	55,500
遺族基礎・母子年金 (子1人)	815,300 (基本627,200 加算188,100)	71,500	858,000 (基本666,000 加算192,000)	71,500
[老齢福祉年金]				
収入600万円未満	330,000	28,400	340,800	28,400
収入600~876万円	289,800	24,450	293,400	24,450

先の国会で、国民年金法などが改正され、国民年金と厚生年金の年金額が引き上げられました。物価スライドと年金財政再計算による給付改善が、いっしょに平成元年四月にさかのぼって行われるものです。

国民年金法が改正 元年4月から 新しい年金額に 差額は2月に支払い

よる差額もあわせて支払われます。ちなみに、国民年金老齢年金(旧法)で月額三万円受給していた人の場合、新年金一か月分と差額八か月分で、約七万一千円になります。

また、老齢福祉年金も、一月に差額分の特別証書によって支払われる予定です。このほかの主な改正点を紹介します。

■年金額の完全自動物価スライド制……これまでは、物価の変動が五%を超えないと自動的に物価スライドしないで、年金額の改定には法律改正が必要でした。これが、五%以下でも自動的に物価スライドするようになり、スムーズに年金額の改定が行われるようになります。

■年金の二か月払い……平成二年二月から、老齢福祉年金を除く国民年金、厚生年金の支払いが年六回になります。

■国民年金保険料……平成二年四月から月額八、四〇〇円となります。

■学生の強制加入……現在、学生は任意加入となっており、未加入時に障害になっても障害年金が支給されないなど問題となっていました。これが、平成三年四月から強制加入になります。ただし、保険料を納めることが困難な場合には、保険料免除制度の活用をはかることができます。

普及所から農改コーナー お正月の食卓にいかが?

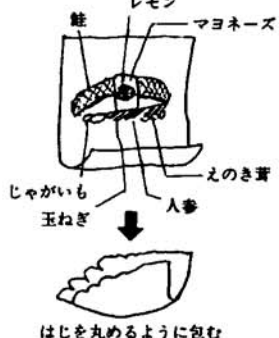
平成元年四月号に掲載した年金額改定表は、物価スライド分だけだったので、削除してください。

平成元年四月号に掲載した年金額改定表は、物価スライド分だけだったので、削除してください。

明けましておめでとーございませう。今年もよろしくお願ひします。こたつの中や茶の間の食卓を囲んで、家族や親戚の元氣な笑顔がそわっているでしょうか。今回は手軽にできるごちそうを紹介しましょう。

- 豚肉の紅茶煮
豚肉のかたまり 約八〇〇g
紅茶のパック 五個
へつくり方
- ①鍋に豚肉と水をかぶる程度に入れ、火にかける。
- ②沸騰したら紅茶を入れ、グラグラと一分ほど煮る。
- ③弱火またはストープにかけて、一時間くらい煮込む。
- ④肉をとりあげ、湯でさっと表面を洗ってできあがりです。

- 新巻鮭のホイイル焼
(材料) (四人分)
新巻鮭 四切れ、玉ねぎ 一個、えのき茸 一袋、人参 一本、じゃがいも 一個、レモン 一個、マヨネーズまたはバター へつくり方
- ①玉ねぎ、人参、じゃがいもは薄切り、えのき茸は小房に分け、レモンもスライスする。
- ②図のようにホイイルに包む。
- ③中火のフライパンで蒸し焼きします。一分くらいを目安に、良い香りがしてきたらできあがりです。



※以上二品とも、肉が嫌いなお年寄り、魚が苦手な若い人に大変喜ばれます。ぜひ作ってみてください。

(三古農業改良普及所長岡班)